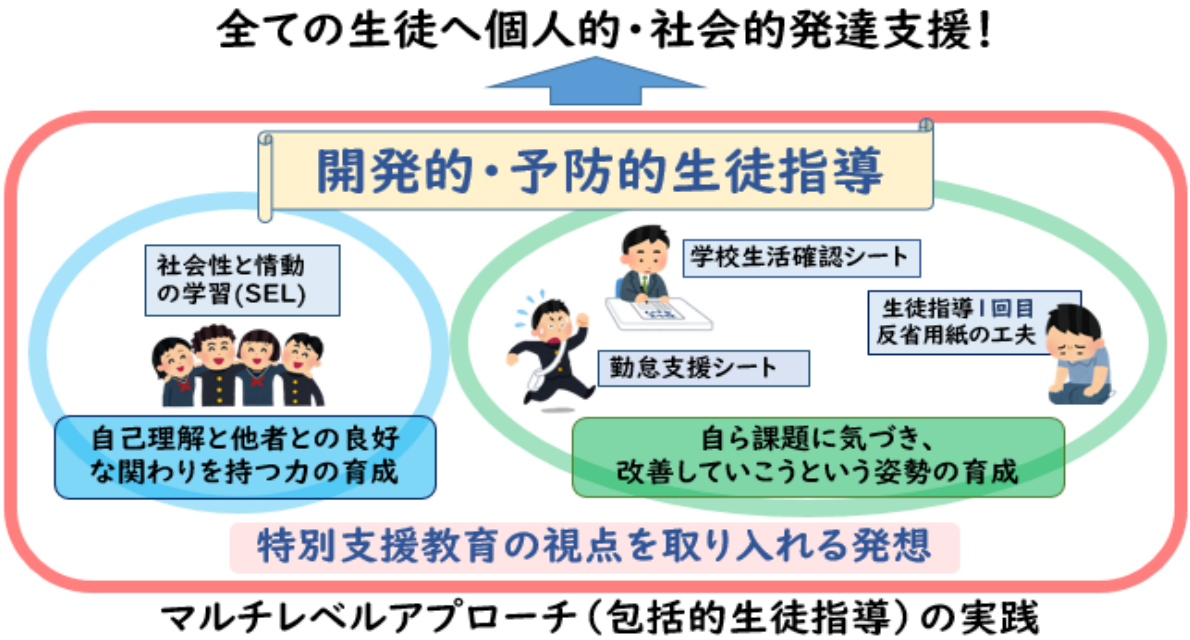
平成 31 年度	1 年長期研修	教科・領域	発達障害教育
所属学校	沖縄県立豊見城高校	氏名	泉川　小百合
テーマ	生徒の個人的・社会的発達を支援するための生徒指導の工夫		
サブテーマ	マルチレベルアプローチにおける開発的・予防的生徒指導の実践を通して		
概　要	個人的発達と社会的発達に関わる支援をすべての生徒に提供するために構築された、マルチレベルアプローチ（包括的生徒指導）の考え方を基に、特別支援教育の視点を取り入れながら、開発的・予防的生徒指導の実践を行った。「社会性と情動の学習」であるSELで生徒が社会的スキルや感情的スキルを学ぶ場を設けたり、日常の生徒指導の中に生徒の気づきを促す工夫や望ましい行動の明確化を示したPBIS等の取り組みを、1 学年職員や生徒指導部の協力の下行った。		
キーワード	特別支援教育　発達障害　マルチレベルアプローチ　PBIS　遅刻指導　SEL　ソーシャルスキル　社会性　開発的・予防的生徒指導		

イメージ図



成　果

- SEL活動が、生徒の他者と関わる意識に肯定的な影響をもたらした。
- 「勤怠支援シート」の活用が生徒側の気づきと、教師側の生徒理解を促した。
- 「学校生活確認シート」の有効利用に影響を与える生徒側の要因についても示すことができた。
- 本校 1 学年の実態に合わせ、短時間で実施できるSELの教材を作成することができた。